

2010年度の発受電速報

<発受電電力量>

1. 全国の概要

2010年度の発受電電力量は、昨夏の記録的な猛暑の影響により冷房需要が増加したことに加え、産業用需要が堅調に推移したことなどから、10社計で9,876.6億kWh、前年比105.1%となった。

(主な内訳)

「水力」：出水率が前年値を上回ったことなどから、628.5億kWh、前年比109.0%となった。

「火力」：発受電電力量全体が増加したことなどから、4,854.0億kWh、前年比106.3%となった。

「原子力」：設備利用率が前年値を上回ったことから、2,712.7億kWh、前年比101.9%となった。

(参考 日本原電除きの設備利用率：当年度67.0%，前年度66.1%)

<出水率>

沖縄を除く9社計では103.0%となった。

2. 発受電電力量実績の概要(10社計)

(単位：千kWh，%)

	当年度		至近3か年の対前年増加率			
	実績	対前年増加率	2009年度	2008年度	2007年度	
発受電電力量	987,659,010	5.1	3.3	3.1	3.3	
発電内訳	水力	62,850,513	9.0	2.2	1.3	13.3
	火力	485,404,847	6.3	9.8	6.0	15.7
	原子力	271,270,983	1.9	7.7	1.0	13.1
	新エネルギー等	2,456,627	8.5	4.9	6.5	1.1
他社受電	174,386,095	6.7	2.4	0.1	4.2	
揚水動力	8,710,365	28.9	13.0	35.6	13.9	
出水率	103.0	-	95.7	91.7	89.1	
原子力設備利用率 (含む日本原電)	67.3	-	65.7	60.0	60.7	

注．電気関係報告規則等の一部を改正する省令により、2010年5月分より以下の変更を行っています。

- ・発電内訳に「新エネルギー等（風力、太陽光および地熱等）」の項目を新設
- ・地熱発電電力量を「火力発電」から「新エネルギー等」に区分変更
- ・「揚水動力」の項目を新設

なお、「火力」、「新エネルギー等」および「揚水動力」における対前年増加率は、当年および至近3か年ともに、前年実績を変更後の区分にあわせて算定しています。

3. 発受電電力量の対前年増加率

(単位：%)

	2010年度	2009年度	2008年度	2007年度	2006年度
10社計	5.1	3.3	3.1	3.3	0.7

(注) : 前年比マイナス

(参考) 燃料実績：10社計(年度)

	石炭(t)	重油(kl)	原油(kl)	LNG(t)	ナガ(kl)
受入	52,240,452	6,124,870	4,687,181	43,922,794	0
消費	51,025,604	6,297,685	4,759,614	41,740,733	12,936